



プレスリリース

2001年(平成13年)12月6日

関係者各位

大和インベスター・リレーションズ株式会社  
〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-8-1  
Tel 03-3243-5000(代表) Fax 03-3271-0267

### 「2001年インターネットIR・ベスト企業賞」に

ヤフー(株)、ミネベア(株)、(株)東芝、ソニー(株)、(株)UFJホールディングス、  
(株)三井住友銀行、日本電信電話(株)、東京瓦斯(株)の8社が選定される。

### 「2001年インターネットIR・ベスト・エフォート企業賞」に

NECソフト(株)、日産自動車(株)、全国朝日放送(株)の3社が選定される。

本年も、インターネットを活用した個人投資家の株式売買が急増しており、個人の株式売買代金に占めるネット取引の比率は42.4%(東京・大阪・名古屋の3市場、ジャスダック市場の平成13年4-9月の売買代金ベース:大和IR調べ)に達しています。個人投資家だけではなく、機関投資家やセルサイド・アナリストにとっても、企業のIRサイトに対する注目度は高まるばかりです。本年の日本証券アナリスト協会によるディスクロージャー優秀企業選定でも、各社がインターネットをいかに使って情報発信を行ったかが、大きな評価ポイントを占めました。今日では、メディアを含め、誰もが企業の投資情報をホームページに求める時代です。このような環境の変化で、日本企業各社もIRサイトのコンテンツに取り組んでいます。

大和証券グループのIR(投資家向け広報)コンサルティング会社である大和インベスター・リレーションズ株式会社(東京・中央区、社長・宮田長吉)は、「2001年インターネットIR・ベスト企業賞(日本)」として次の8社を選定いたしました。

ヤフー株式会社(4689)、ミネベア株式会社(6479)、株式会社東芝(6502)、  
ソニー株式会社(6758)、株式会社UFJホールディングス(8307)、株式会社三井住友銀行  
(8318)、日本電信電話株式会社(9432)、東京瓦斯株式会社(9531)

ミネベア(株)、ソニー(株)、日本電信電話(株)、東京瓦斯(株)の4社は昨年続いてベスト企業賞に選定されました。(株)三井住友銀行は、昨年(株)住友銀行が選定されています。今回、ヤフー(株)、(株)東芝、(株)UFJホールディングスの3社が新しく選定されました。

また、この1年間で、最もコンテンツが向上した「IRサイト」を対象に、「2001年インターネットIR・ベスト・エフォート賞」を次の3社に選定いたしました。

NECソフト株式会社(4774)、日産自動車株式会社(7201)、全国朝日放送株式会社(9409)

**大和インベスター・リレーションズ**

Daiwa Investor Relations

これは、優秀なインターネットIRサイト企業を顕彰し、IR関係者・投資家の拠る指標をめざすもので、昨年に続き、今回が第2回目です。12月10日(月)日本インベスター・リレーションズ協議会などの主催により、東京プリンスホテルで開催される第4回東京IR大会の会場「大和IRブース」で、詳細を発表・掲示いたします。

(ベスト企業賞の)選定過程は次の通りです。

- ① 平成13年10月15日～11月20日の期間にわたり、主な上場公開企業489社のホームページに記載されている「IR(投資家向け広報)」サイトをレビューした。
- ② 各IRサイトを弊社の選考コンテンツ評価に基づいて採点した。  
(100点満点。大卒の採点表は別表1参照)
- ③ 米国ダウ30種採用企業のIRサイトも評価した。
- ④ その結果、米国ダウ30種採用企業の平均評価点に対し、日本語サイトの評価で上回り、英語版サイトでも米国企業に比肩するコンテンツを示した、前掲日本企業8社を「2001年インターネットIR・ベスト企業賞(日本)」として、選定した。  
(なお、大和証券グループ本社、ならびにその関連会社は、表彰から除外しております。)
- ⑤ 併せて、「2001年インターネットIR・ベスト企業賞(米国)14社」も選定いたしました。  
(別表2参照)

なお、インターネットIRベスト・エフォート企業賞の選定過程は以下のとおりです。

- ① 全対象企業489社中、昨年比較のできる388社を対象に、スコアが35点以上向上した企業を対象とする。選定した3社がこれに該当します。
- ② 30点以上向上した企業は6社、20点以上向上した企業は29社でした。

また、業界別のIRサイトの上位ランキング10は次のとおりです。

- ① 全業種平均28.43点でした、平均を上回る業種は15。
- ② 上位3ランキングは、「証券」(53.00)「通信」(50.81)「保険」(47.50)と、グローバル競争がますます激しくなっている業種が並びました。2000年は「通信」(43.7)「証券」(41.0)「保険」(38.4)の順位でしたから、上位1,2が入れ替わりました。この3業種は、外国人の持ち株比率も高く、ネット上のビジネス展開も業務で大きなウェートを占めることが、インターネットのIR情報コンテンツの充実に、大きく影響していると考えられます。
- ③ 下位には、上位3業種と対照的な、「不動産」(19.94)「ゴム製品」(18.58)「倉庫・運輸関連」(15.67)「鉱業」(15.00)が並びました。

#### 上位10業種

(業種は東証33業種分析による)

ランキング	業種	平均得点(100点満点)
1(2)	証券	53.00
2(1)	通信	50.81
3(3)	保険	47.50
4(4)	電気・ガス	44.79
5(7)	海運	41.25

6(6)	電気機器	36.09
7(9)	空運	34.25
8(10)	銀行	31.66
9(14)	非鉄金属	31.36
10(22)	鉄鋼	30.60

下位 8 業種

26(30)	陸運	22.06
27(29)	建設	21.48
28(一)	水産・農林	21.00
29(28)	金属製品	20.25
30(25)	不動産業	19.94
31(26)	ゴム製品	18.58
32(32)	倉庫・運輸	15.67
33(31)	鉱業	15.00

[別表1] 100 点満点。大枠のコンテンツ評価採点表

トップページ、更新記録	10 点
トップからのメッセージ	5 点
株式・株価・社債情報・今後のIRの予定	20 点
財務データ・アニュアルレポートなど	20 点
IMプレゼンテーション	30 点
免責条項	5 点
FAQ(よくある質問)	5 点
電子メールでの質問受付・回答	3 点
サイトマップ	2 点
合計	100 点

[別表2] 2001 年インターネットIR・ベスト企業(米国) 14社

コード	会社名	業種
AXP	アメリカン・エクスプレス	金融サービス
BA	ボーイング	航空
DD	デュポン	化学全般
EK	イーストマン・コダック	写真
XOM	エクソン・モービル	石油
GE	ゼネラル・エレクトリック	電気機器
GM	ゼネラル・モーターズ	自動車
IBM	IBM	コンピュータ機器
INTC	インテル	半導体
IP	インターナショナル・ペーパー	紙パルプ
JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン	食品・飲料
MSFT	マイクロソフト	ソフトウェア
PG	プロクター・アンド・ギャンブル	ヘルスケア
T	AT&T	通信サービス

現在、米国の株式公開企業の92%がコンファレンスコール(電話会議を使った説明会)やインターネットで四半期決算を発信し、88%の企業が自社のホームページにこれまでの説明資料などを掲載しています(米国IR協議会調べ)。投資決定をする前に企業サイトを見る米国の個人投資家は約70%に達しています。ネットをめぐる証券市場が示すこの事実を、企業のIR活動は無視できません。企業IRサイトの充実と情報発信は、投資家を重視する公開企業の最大の関心事です。こういう米国の潮流が日本企業に大きな影響を与え、全企業平均点が20%伸びており、米国企業の17%の伸びを大きく上回っています。

大和IRは、資本市場に幅広い専門分野を持つ大和証券グループにあって、公開・未公開企業の投資家向け広報(IR)にすぐれたノウハウをもち、専門度の高いプロフェッショナル・サービスに実績を築き、コーポレート・ストーリーの構築からIR活動のアドバイザーまで、IRの幅広い活動をおこなっています。とりわけ、企業のインターネット・ホームページによるIR分野では、他社の追随を許さないコンサルタント・ビジネスで、多方面から高い評価を頂いております。

大和IRでは、インターネットIRや効果的な企業のディスクロージャー活動を今後とも支援してまいります。

【お問合せ先】 業務推進部長 米山徹幸(よねやま てつゆき)

E-mail : tetsu.yoneyama@daiwair.co.jp

Tel 03-3243-2347 Fax 03-3271-0267

以上